

平成 31 年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高等学校「社会と情報」 (数研出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>実技と座学の授業があるため、LAN 教室で学習を行います。</p> <p>コンピュータを使用した実技を通して文書や表、プレゼンテーション方法を学びます。また、情報機器やネットワークの普及により生じる問題について理解を深め、高度情報社会を生き抜く力を身につけましょう。特に情報モラルについては年間を通して学習をします。教科書の内容だけではなく、ニュースを通して高度情報社会のリアルタイムな出来事について知り、その解決方法や対策方法について考えましょう。</p>

2 学習の到達目標

<p>日常生活の様々な問題を解決するために、コンピュータやその他の情報機器を活用して文書や表、プレゼンテーション資料を作成することができる。</p> <p>情報を扱う上で、他者に迷惑や害を加えたり自らや周囲の人間が無用なトラブルに巻き込まれないよう、基礎的な情報モラルの知識を身に付け、社会生活の中で適切な判断ができる。</p> <p>ネットワークの仕組みやコンピュータを使用するうえで気を付けなければならない問題等を理解し、適切に活用できる。</p>

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えや主張を情報機器を使用して表現できる力 ・法律や個人情報に十分配慮し、情報の収集や発信を行うことができる判断力 ・場に応じた効果的なコミュニケーションを選択するために、情報通信ネットワークで提供されている様々なサービスの中から適切に選択し、利用できる思考力・判断力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトウェアを使用し、文書作成や表計算、プレゼンテーション資料を作成する技能がある ・タッチ・メソッドを習得し、作業効率を向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が社会に及ぼす影響を理解し、情報を保護するための対策や情報セキュリティを高めるための方法を知る ・コンピュータにおいて情報が処理されるしくみを理解する ・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや提供されているサービスの特性を理解する。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 実習作品 等	学習状況の観察 実習作品 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	コンピュータの使い方	○マウスの使い方 ○キーボードを使用した入力 ○コンピュータの画面構成	○ ○	 ○	○ ○ ○	 ○ ○	a: コンピュータを使用することに興味を持ち学習に積極的に取り組もうとする態度がある。 b: タイピングスピード向上のため、効率の良いタイピング方法を考える。 c: コンピュータ操作やタッチタイピングを行うことができる。 d: コンピュータの使用方法を理解する。	授業観察 実技データ 授業プリント
1	文書デザイン①	○文書作成ソフトウェアの使い方 ○文書デザイン<初級編>	○	○ ○	○ ○	 ○	a: 文書作成ソフトウェアを使用した文書作成に興味を持ち、積極的に取り組もうとする態度がある。 b: 相手へ効果的に伝わるような文書デザインを考え、表現する。 c: 文書作成ソフトウェアを使用し、文書の装飾を行う技術がある。 d: 文書の内容を理解し、適切な位置に分を配置することができる。	授業観察 実技データ
1	情報の基礎理論	○コンピュータのしくみ ○情報の表し方 ○情報モラル① (インターネットの光と影、携帯電話のセキュリティ対策 等)	○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: コンピュータのしくみや情報モラルに興味を持ち、学習に積極的に取り組もうとする態度がある。 b: 目的に応じた、効果的な情報機器活用について考えることができる。 c: 情報機器を用いて情報をデジタル化することができる。 d: 情報機器で扱う数値や単位について理解する。コンピュータの仕組みや情報機器のセキュリティなどについて理解する。	授業観察 授業プリント

2	文書デザイン②	<p>○図形や表の挿入・装飾</p> <p>○文書デザイン＜中級編＞</p> <p>○実技テスト</p>	○	○	○	○	<p>a: 文書作成ソフトウェアを使用した文書作成に興味を持ち、積極的に取り組もうとする態度がある。</p> <p>b: 相手に効果的に伝わるような文書デザインを考え、表現することができる。</p> <p>c: 文書作成ソフトウェアを使用し、図形や表を含めた文書を作成する技術がある。</p> <p>d: 文書の内容を理解し、適切な位置に文を配置することができる。</p>	授業観察 実技データ
2	表とグラフ作成	<p>○表やグラフの作成・装飾</p> <p>○関数を使った表計算</p>	○	○	○	○	<p>a: 表計算ソフトウェアを使用した資料作成に興味を持ち、積極的に取り組もうとする態度がある。</p> <p>b: 相手に効果的に伝わるような表やグラフのデザインを考え、表現している。</p> <p>c: 表計算ソフトウェアを使用し、目的に応じた表やグラフを作成する技術がある。</p> <p>d: 表計算ソフトウェアの活用方法や関数について理解する。</p>	授業観察 授業プリント
2	情報の基礎理論②	<p>○情報のデジタル化</p> <p>○情報モラル② (個人情報の扱い方、知的財産権、インターネットを使うにあたって)</p>	○	○	○	○	<p>a: 情報のデジタル化や情報モラルに興味を持ち学習に積極的に取り組もうとする態度がある。</p> <p>b: 様々な情報を扱う際に、知的財産権等の権利を侵害していないか考え、また、情報を保護するための対策方法等を考えることができる。</p> <p>c: 情報をデジタル化する技術がある。</p> <p>d: デジタル化のしくみや個人情報の扱い方、知的財産権について知識があり、理解している。</p>	授業観察 授業プリント 考査

3	プレゼンテーションソフトウェア	○効果的なプレゼンテーション ○プレゼンテーションソフトウェアの使い方	○	○	○	○	a: プレゼンテーションを通して受け手にわかりやすく自分の意見を伝えようとする態度がある。 b: 受け手に効果的に自分の意見が伝わるプレゼンテーション方法や資料をデザインすることができる。 c: プレゼンテーションソフトウェアを使用し、資料を作成することができる。 d: 情報機器を活用してプレゼンテーションを行うための基本的な姿勢や方法を理解している。	授業観察 実技データ
3	情報の基礎理論③	○情報通信ネットワークのしくみ ○コンピュータウイルス ○サイバー犯罪 ○情報モラル③ (情報社会が人に及ぼす影響 情報セキュリティ)	○	○	○	○	a: 情報社会のさまざまな問題やその対策方法について積極的に知り、安全に活用しようとする態度がある。 b: 情報社会で安心・安全に生活をするための対策方法について適切な思考・判断を行うことができる。 c: サイバー犯罪等に巻き込まれないためのセキュリティ対策や被害にあった際の対処方法を身につけている。 d: 情報通信ネットワークのしくみや情報社会で起こっている問題について理解している。	授業観察 授業プリント 考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。